はつかいち人　vol.23

廿日市市で輝く人を紹介します

プロレスラー　宮本裕向（みやもとゆうこう）さん（35歳・吉和出身）

プロレスは「キングオブスポーツ」究極のエンターテインメントです

たくさんの人が吉和に来るきっかけになれば

吉和でプロレスをやることに意味があるんです―。吉和出身のプロレスラー宮本裕向さんは熱を込めて話します。

9月23日、もみのき森林公園体育館で行われた4回目の凱旋試合。宮本さんが入場すると、500人を超える観客で埋まった会場が揺れました。

「自分の姿なんか正直どうでもいいんですよ。ただ、みんなで賑やかにワイワイとプロレスを見てもらい、お酒のつまみにしたり、集まるきっかけになったりすればいいなと思います。いろんな人が吉和に来ることが一番うれしくて。こんな田舎でこんなやつが育ったんだというところを見せたいです」。

心から打ち込めるものを

宮本さんがプロレスに興味を持ったきっかけは、高校1年生の正月にテレビで偶然見たプロレスの試合でした。

「ものすごい衝撃を受けました。たくさんの歓声の中で闘っている姿がとにかくカッコよくて。素直にこんな仕事をしたいと思いました」。

一度は建築関係の仕事に就きましたが、「お金のためだけではなく、心から打ち込めることをしたい」と20歳で一念発起してプロレスラーへの道を決意しました。

たくさんの人に感動を

「プロレスの魅力は、全てが集まった『キングオブスポーツ』であることです。笑いあり、涙あり、怒りあり…喜怒哀楽が詰まった、まさに究極のエンターテインメント。でも野球やサッカーと比べて、決して認知度が高いスポーツではありません。プロレスを見たことがない人に、こんなものがあるんだということを、もっと伝えていきたいです。自分がプロレスに感動させてもらったように、たくさんの人に笑ったり泣いたりしてもらいたい。プロレスのチケット代は決して安いものではありません。高いお金を出して見に来てくれた人たちが来てよかったなと思えるような試合をしていきたいです」と話してくれました。

上の2次元コードを読み込むと市公式ホームページに飛びます。宮本さんのインタビュー動画を、11月1日㈬に掲載しますので、ぜひご覧ください。

編集後記

初めてプロレスを見ました。会場に流れる独特の雰囲気に、どこか懐かしさを感じました。

「なぜなら、俺たちは強い」。試合の最後、宮本さんと会場の全員が決め台詞を唱和したとき、会場に笑顔が溢れました。戦後、プロレスは野球や大相撲と並んで、国民的人気スポーツだったと聞きましたが、その当時、多くの人がプロレスから元気や勇気をもらっていたんだなと思いました。　西岡　秀治

皆さんはなぜ紅葉を見に出掛けることを紅葉「狩り」と言うのか知っていますか。昔から「狩り」は獣や果実を取る意味で使われていましたが、狩りをしない貴族が登場したことで、貴族が草木を眺めて楽しむようすを狩りに例えたことが由来だそうです。私も味覚だけでなく、目で見て秋を楽しみたいと思います。　澁谷　里香

人のうごき

		前月比
総人口	117,523人	（+71）
男	56,463人	（+32）
女	61,060人	（+39）
世帯	51,450世帯	（+44）

（平成29年10月1日現在、外国人を含む）

目の不自由な人のため
■音声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。
■「広報はつかいち」のカセットテープ、デイジー図書、点訳本があります。問い合わせ　社会福祉協議会☎20294

発行　廿日市市　〒738－8501　広島県廿日市市下平良一丁目11番1号　☎0829(20)0001(代)・FAX0829(32)1059
編集　分権政策部　経営政策課　広報統計グループ
ホームページアドレス　http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス　http://www.facebook.com/hatsukaichicity